

2024 年 7 月 3 日

救急科の入院診療を受けられた患者さんへ

「 鈍的脾損傷に対する経カテーテル動脈塞栓術と仮性動脈瘤の発生、追加塞栓に関する研究 」 への協力をお願い

救急科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、当科において、脾損傷の治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2029 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：2018 年から 2023 年の 6 年間に当院に救急搬送された鈍的脾損傷の患者 66 名を、電子カルテを用いて後方視的に調査します。脾損傷に対する治療（TAE, 保存的治療）、その後のフォローアップの造影 CT 検査での仮性動脈瘤の発生、それに対する追加塞栓術などを調査します。仮性動脈瘤の発生率を調査し、フォローアップの必要性や追加塞栓の必要性などを検討します。

研究に用いる試料・情報の項目：以下の項目において、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

治療等開始前の検査・評価項目

年齢、性別、各種バイタルサイン

ISS、AAST 分類、外傷学会分類

受傷してからの期間

受傷機転

造影 CT 検査

カテーテル治療・検査

血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数

生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、Na、K、Cl

尿検査：蛋白、糖

自他覚症状

経カテーテル動脈塞栓術施行や手術施行の有無

仮性動脈瘤の発生の有無

追加塞栓の有無

転機、死亡原因

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024/9/11

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター
氏名：山路 文範

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター
電話番号：058-230-6448
氏名：山路 文範

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp